

わだち

LOGISTEED
Public Relations Magazine
April 2025 vol.461

2025 春号

特集

最適物流を

追求する

アルプス物流が

ロジスティード

グループに

達人ノ音ギタリスト

ファルコン

ロジスティード陸上部選手たちの
ONとOFF

番外編 陸上部を支えるスタッフたち

上田 健太

四條 淳子





薄紅色の花びらが、新たな物語の始まりを告げる

『春』という言葉を聞くと、何かうきうきとした気分になるのは、なぜでしょうか。かの清少納言が、随筆『枕草子』で、春の素晴らしさを朗々とした表現で著しました。

冒頭「春はあけぼの」で始まる一説に、学校で習った当時は、あぁ、平安時代から現代に続く美しい日本人の美意識、などと感動したものです。

ご存知の通り「枕草子」は「春は夜明けこそが美しい」と始まり、夏は「夜」、秋は「夕暮れ」、冬は「早朝」と一年を通して季節ごとに趣の深い時間帯を取り合わせて、自然や、宮中の出来事などが独自の視点で書き綴られた傑作です。

『春は夜明け』というように空が白々と明るくなり1日が始まる時のように、春は不思議と何か新しいことを始めたくなるような、麗らかな気分させてくれる

心躍る スタートの 季節

季節です。また寒かった冬が終わりを告げやってくる春は、新たなスタートの季節でもあります。この機会に興味やキャリアアップにつながるものなど、興味があるものにチャレンジしてみてもいい？

清少納言のように気付いたことをエッセイにしたり、日記を書き始めたり、身の回りや思い出を整理したりやってみたいと思っていた習いごとやスポーツを始めたり。些細なことでも構わないので、新しいことを始めてみましょう。

どんなに長い夜があっても、必ず朝は来る。毎年巡る春は、変わらぬひとつの季節のようには思えますが、何かを始めれば今年の春は、昨年とは違う春になるはず。自分の中の変化を感じながら、暖かい日差しに、明るい明日を重ねてみるのはいかがでしょうか。



横浜近郊の豊かな自然の中に、アルプス物流はある



Contents

特集

04 最適物流を追求する アルプス物流が ロジスティード グループに

SDGsエコレシビ

10 鶏そぼろ& ハニーマスタードソース

達人ノ音

11 ギタリスト ファルコン

ロジスティード陸上部選手たちのONとOFF

14 番外編 陸上部を支えるスタッフたち 上田 健太／四條 淳子

18 Topics

19 編集後記

表紙

満開の桜と北アルプス

お問い合わせや感想はこちらまで

わだち編集事務局:wadachi@logisteed.com

*「わだち」の無断転載はご遠慮ください。
*本誌内においては会社名の敬称を略しておりますので
何卒ご了承ください。

ロジスティード広報誌

わだち 2025春号

2025年4月1日発行

編集発行人 金田 陽子

発行所 ロジスティード 株式会社

〒104-8350 東京都中央区京橋2-9-2

Tel.03-6263-2803

印刷所 株式会社 日立ドキュメントソリューションズ

電子部品物流で培った
専門性を活かす

高度化・多様化・広範化しているグローバルサプライチェーンにおいて、お客様・投資家・従業員などあらゆるステークホルダーから、最も選ばれるソリューションプロバイダとなることを経営ビジョンに掲げるロジスティードは2025年1月、株式会社アルプス物流（以下アルプス物流）をグループの一員として迎えた。

アルプス物流は1964年、横浜市港北区で設立された株式会社渡駒を前身とする会社だ。アルプス電気株式会社（現アルプスアルパイン株式会社）の製品運送、保管、梱包資材販売事業などを行う中、1967年に同社の資本参加を受け、1987年にアルプス物流に社名変更した。また2004年にはTDK物流株式会社との合併も行った。

主な事業は半導体や精密機器の部品など電子部品物流事業、電子部品に関連する成形材料や包装資材などの販売事業で構成される。主要なお客様である電子部品産業では通信の5G関連機器の普及や自動車の電子化の進行、AI、IoT、DXの実用化が進み、より一層のエレクトロニクス製品の需要拡大が見込まれるため、アルプ

ス物流の事業も成長が予想される。

一方で商品やマーケットの変化に対応した生産地変更やサプライチェーンの効率化と強靱化が進む中、お客様の物流改革ニーズは高度化、多様化している。業界全体の課題でもある労働力不足への対処と合わせ、アルプス物流も事業変革が求められる。

ロジスティードグループの一員となることで、アルプス物流が培ってきた電子部品物流の専門性やノウハウに、ロジスティードが強みとする事業領域やネットワークが掛け合わさる。調達物流から販売物流に至る一気通貫の効率的で高付加価値なサービスの提供が可能となり、お客様満足度の向上をめざしていく。

最適物流を追求するアルプス物流が ロジスティードグループに

1964年に横浜市港北区で設立し、
電子部品物流事業で高い専門性を持つ株式会社アルプス物流が
2025年1月、新たにロジスティードグループの一員となった。
アルプス物流がどのように成長してきた会社なのか紹介する。

株式会社アルプス物流の本社は横浜市港北区新羽町にあり、同じ敷地内に横浜営業所もある。左側の建物は2022年に新設された横浜営業所2号棟。この奥側に本社がある。すぐ横には鶴見川が流れ、横浜市営地下鉄ブルーライン新羽駅から徒歩約5分の距離にある。

アルプス物流の歩み

- 1964 株式会社渡駒として設立
貨物取扱事業・包装資材販売事業を開始
- 1970 アルプス運輸株式会社にて社名変更
- 1987 株式会社アルプス物流にて社名変更
- 1988 東京港センター（現・大井営業所）を建設し、
輸出入貨物取扱事業を開始
- 1994 成形材料販売事業を開始
アルプス物流香港を設立、海外展開を開始
- 1995 マレーシア、中国・天津に現地法人を設立
東京証券取引所市場第二部上場
- 1996 株式会社流通サービスに資本参加
- 1997 シンガポールに現地法人を設立
- 2001 東京税関より通関業許可を取得
- 2002 IATA航空貨物代理店ライセンスを取得し、
航空貨物混載事業を開始
アメリカに現地法人を設立
- 2004 TDK物流株式会社と合併
- 2005 航空貨物取り扱い拠点として、
成田営業所倉庫を建設
メキシコに現地法人を設立
- 2008 タイに現地法人を設立
電子デバイス販売事業を開始
- 2010 AEO制度「特定保税承認者」
「認定通関業者」に認定
台湾に現地法人を設立
- 2011 韓国に現地法人を設立
- 2014 ドイツに現地法人を設立
- 2017 ベトナムに現地法人を設立
- 2018 インドに現地法人を設立
- 2019 株式会社ロジコムと合併で、
株式会社アルプスロジコムを設立
自動車部品を取り扱う
アルプスロジコム・インドを設立
- 2021 東京証券取引所市場第一部に指定
- 2022 東京証券取引所プライム市場に移行
- 2023 フィリピンに現地法人を設立
- 2024 インドネシアに現地法人を設立
東京証券取引所プライム市場において
上場廃止
- 2025 ロジスティードグループに参加

新たな歴史の始まり 物流マネジメントの進化を 加速していく

創立から60年 次の未来への飛躍

アルプス物流は昨年、創立60周年を迎えた。寺^{てら}寄^き秀昭代表取締役社長執行役員は「企業の寿命として30年という説がありますが、アルプス物流は30年ごとに新たな分野へ挑戦し、成長してきました。2巡目の60年を終え、次の未来への飛躍のタイミングにロジスティードグループの一員となりました。また新たな挑戦の始まりです」と語る。

アルプス物流は創立後、アルプス電気の運送業務を行いながら主に国内の運送と保管業務に注力して発展した。そして30周年を迎えた1994年、香港に現地法人を設立して海外展開を開始。国内だけでなく輸出入事業によるグローバル展開にも力を入れ、2024年に設立したインドネシアの現地法人で進出国は15カ国となった。現在は連結売上高約1200億円、

従業員数は連結約5900名（単独約960名）の総合物流会社となっている。

「我々は電子部品の運送・保管・輸出入といった、（サプライチェーンの）上流に近い部分の物流を得意としてきました。ロジスティードは完成した製品や市場に近い物流が強く、今回、グループの一員

となることで

我々としては上

流から下流までの

物流が一本につな

がり、新たなお客様

と出会えるチャンスとなります。

お互いの強みを活かしたシナジーを発揮し、これまでにはできなかったビジネスを生み出します」



アルプス物流のビジョンである「物流マネジメントの進化を加速する」の実現には、会社・部門・個人の3つのレベルでの「挑戦」が不可欠となる。従業員一人ひとりの想いと、常に挑戦し続ける姿勢とを掛け合わせ、新しいアイデアや解決策を生み出していく。

と寺寄社長は話す。

お客様の「物流個性」を理解する

また、寺寄社長は「新たなお客様との出会いでも、それぞれの物流個性に対応し、それぞれの最適物流を実現していきます」と意気込みを話す。

この言葉に出てくる「物流個性」と「最適物流」は、アルプス物流の事業に対する姿勢であり、これまでの歴史の中で培ってきた強みだ。

「運送や保管を託される電子部品は、取り扱いに繊細さを求められるものが多く、温度や湿度の管理、

チリ、ホコリの防止などきめ細かく管理しなければいけません。半導体など単価が高額なものもあります。お客様の会社そのものや、お預かりする貨物一つひとつが持つ特性を我々は『物流個性』と呼んでいます。1000社のお客様には1000通りの異なる対応が必要になります。お客様の物流個性を理解し、『最適物流』でお客様のものづくりを支えてきたのがアルプス物流です」

さらに、アルプス物流は会社のビジョンとして「物流マネジメントの進化を加速する」掲げる。これは、物流個性に従業員一人ひとりの「想い」と「挑戦」を掛け合わせ、お客様それぞれのニーズに応じた最適物流をデザインすることでの実現をめざすビジョンとなっている。

「挑戦」には3種類あります。会社の挑戦（社内の）部門ごとの挑戦、従業員それぞれ個人の挑戦です。会社の挑戦はたとえば新たな事業の立ち上げや拠点づくりなどです。部門ごとの挑戦はお客様が求めることを理解し、路線の運行業務や購買代行などを開拓していくこととなります。そして個人の挑戦はさまざまなのですが、そのために『まずは職位が一つ上の仕事をよく観察しなさい』と言って

社長は、これから従業員との対話の時間や機会を増やしたいと考えている。

「ロジスティードグループの一員となり、新たなお客様、新たな物流個性と出会い、新たな事業が展開できるチャンスと捉えています。従業員一人ひとりが考え、提案し、行動する会社になれるよう、物流マネジメントの進化とともに、新たな未来をつくっていきます」と展望を話してくれた。

従業員との対話の 時間を増やしていく

新たなスタートを先導する寺寄



株式会社アルプス物流 代表取締役 社長執行役員

寺寄 秀昭

てらさき ひであき●1964年生まれ、佐賀県鳥栖市出身。熊本大学工学部卒業後、1989年にアルプス電気(株)(現アルプスアルパイン(株))入社。2009年、同社のチェコ法人であるALPS ELECTRIC CZECH.s.r.o.取締役社長就任。2014年、同社 生産本部角田製造部長就任。2018年、(株)アルプス物流入社。2019年、同社取締役就任。その後、執行役員、取締役常務執行役員を経て、2024年6月、代表取締役 社長執行役員に就任した。

従業員一人ひとりが 考え、提案し、行動する会社



アルプス物流 代表取締役 社長執行役員の寺寄 秀昭さん(右から2人め)と経営企画部 経営企画課 課長の渡邊 真広さん(右端)、同課 マネジメント補佐 三村 うららさん(左端)、同課 本城 真優さん(左から2人め)。経営企画課のみなさんが中心となって「60周年記念誌」と「アルプス物流理念ブック」をまとめた。

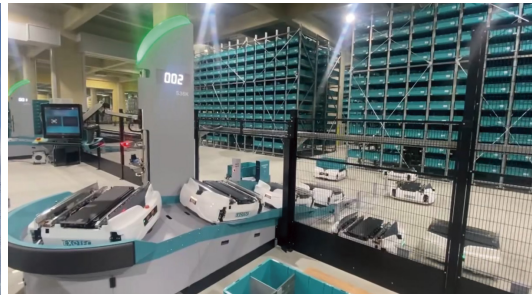
名古屋営業所 3拠点統合で誕生して1年。地域貢献活動も積極的に推進

愛知県小牧市にある名古屋営業所は2024年2月、中京地区3拠点(旧名古屋営業所、瀬戸営業所、高森台倉庫)を統合して新たに誕生した営業所だ。倉庫などもすべて新設され、全館空調を完備、可動式ラックやAMR(Autonomous Mobile Robot=自律走行搬送ロボット)が導入されている。太陽光発電設備も備えている。

心に取り扱っていますが、車の電子化が進み、車載のセンサー装置なども増えたことで、取り扱いの電子部品のアイテム数、数量は右肩上がりが増えていきます。ただ、小型化も進み、繊細な取り扱いが必要な部品も多くなっています。ラベルの貼り方、梱包方法なども細かな違いがあり『それに対応できるのはアルプス物流の強みだ。』という自負を持ちながら業務にあたっています」と話してくれたのは名古屋営業所

商品一課の伊藤 大智さんだ。

新設から1年が経ち、2025年度からは行政や地域の団体と協力して地域貢献活動に参加していく予定だ。営業所内では「サステナ部」も立ち上がった。「障がい者就業支援施設との連携、社会福祉法人が運営する地元ワイナリーへの寄付活動や行政と連携した地域貢献活動にも積極的に参画していきます」と品質担当 木村 洋輝さんは話す。



DATA			
住所	愛知県小牧市大草西88	電話	0568-64-9589
設立年	2024年	従業員数	206名
特徴	中部エリア中継基地で24時間稼働、東海3県を担当		

成田営業所 規格外の無農薬野菜の販売会でフードロス対策に貢献

千葉県山武郡芝山町の成田営業所は成田空港から約6kmの位置にある。電子部品航空貨物の輸出入専用拠点として機能し、輸出手続きに必要な爆発物検査装置も備えている。保税蔵置場と内貨倉庫を1棟内に所有していることも特徴の一つだ。

「夢のカタチふぁーむ」が運営する無農薬・有機栽培農園の野菜販売会を営業所内で実施している。発案者の成田営業所 管理係の兼坂 枝里子さんは「もともと私自身が無農薬野菜に興味があり、『夢のカタチふぁーむ』の農家さんとつながったことから始まりました。丹精込めて育てられた野菜なのに、形が悪いものなどは『規

格外』として処分されることが多いと聞き、SDGsのフードロス対策にもなると思って販売会を企画提案しました」と話す。規格外品の野菜販売のため、おいしさや栄養価は同じなのに、市価よりも割安で安心安全な無農薬野菜を購入することができ、好評だ。2025年3月には従業員と家族向けに、畑での収穫体験イベントの開催も行った。



月に一度、昼休憩の時間帯に食堂横のスペースで開催されている規格外の無農薬野菜販売会。販売されている野菜のおいしいレシピメモが添えられることもある。

DATA			
住所	千葉県山武郡芝山町大台3155-65	電話	0479-78-6366
設立年	2005年	従業員数	267名
特徴	電子部品航空貨物の輸出入専用拠点(成田空港から6km) 保税蔵置場と内貨倉庫を1棟内に所有、国内・海外ネットワークと直結		

横浜営業所 大型太陽光発電設備を備えた新倉庫もある最古参の営業所

アルプス物流は国内に約30拠点のネットワークを持つ。その中で横浜営業所は横浜市港北区の本社と同じ敷地内にあり、社内で最古参の営業所だ。ただ、歴史があるだけではなく、時代に合わせたアップデートも行われてきており、2022年には2号棟倉庫を新設し、移動ラックを導入。従来の3号棟にも2024年にAGV(Automatic Guided Vehicle=無人搬送車)を導入した。

横浜営業所 商品一課 課長の林 恭子さんは「新しい2号棟倉庫は4層構造で、全館空調になっています。お預かりする電子部品などの温度・湿度管理のためです。また屋上に大型の太陽光発電設備があり、館内で使用する空調やエレベーターなどの電力は基本的に太陽光発電で賄っています。この規模の太陽光発電設備を備えたのは、全国に広がる営業所の中でもここが初めてです」と話す。

自然エネルギー活用の導入は環境負荷軽減につながるだけでなく、地震など災害時のBCP(Business Continuity Plan=事業継

続計画)対応の一環にもなる。「物流会社は災害発生時、物資を輸送するために迅速な復旧対応が求められます。停電が続いても倉庫を稼働させることができるよう、太陽光発電の電気を貯めておける蓄電池も備えています」と林さんは続けて教えてくれた。

また、新しい倉庫では1層目の天井は高く、2層目からの上の層は低めとなっている。「1層目はパレット品の保管効率向上が目的で天井を高くし、移動ラックを導入しています。2層目より上は、荷姿が小さい電子部品を棚で

保管し、人の手でピッキングすることが前提のため天井が低めとなっています。横浜営業所のお客様は電子部品商社が多く、例えば倉庫で100個保管している部品のうち10個だけを納品先に届けるという依頼など、少数の搬出入も多いので、細かなオーダーにも対応できるようにしています」と林さん。さらに3号棟倉庫のAGV導入は人手を減らす「省人化」のためではなく、人の手による丁寧な対応が必要なところに従業員を活用していく「活人」のための導入だと教えてくれた。



2022年から稼働している新しい2号棟倉庫を案内してくれた横浜営業所 商品一課 課長の林 恭子さん。前任地の名古屋営業所で課長職に抜擢された。またドイツの現地法人で1年間、海外トレーニーとして研修を積んだ経験も持つ。

DATA	
住所	神奈川県横浜市港北区新羽町1767
電話	045-531-4135
設立年	1964年
従業員数	269名
特徴	アルプス物流最大の営業所 半導体・電子部品の豊富な取り扱い実績 太陽光発電によるBCPと環境対応

第8回 「わだち」は漢字で書くと「和達」とあてています
この「達」にちなんで各分野の達人を紹介していきます



音に空間的な
広がりをも
生み出す演奏で
聴く人を魅了する

ギタリスト
ファルコンさん

ギタリストで、作曲・作詞も手がけるファルコンさんは、アコースティックギターを軸にして、エフェクターを駆使した空間的な広がりを感じる演奏で聴衆を魅了する。また国や地域など、さまざまなルーツを持つミュージシャンとコラボしたバンド活動も展開している。自分の内面とも向き合う音楽活動について、ファルコンさんに話を聞いてみた。

ロジスティードグループ保養所
サン・アンド・サン荘 伊豆高原
料理人が教える

SDGs
エコレシピ
vol. 8

今回の余りもの食材は…
鰻のたれ、粒マスタードなど
余りがちな調味料

鶏そぼろ& ハニーマスタード ソース

納豆、焼き鳥、鰻の蒲焼きなどについてくるたれや
使いかけの粒マスタードのチューブなど
冷蔵庫の扉のポケットに残っていませんか？
今回はそんな余りがちな調味料を
おいしく活用できる簡単レシピを紹介します



作り方

(鶏そぼろ)

- ①フライパンに油を引き、
鶏挽肉を炒める。
- ②肉の色が変わったら酒を加え、
強火でアルコールを飛ばしたら
少し火を弱めて鰻のたれを加えて
水分がなくなるまで炒める。

(ハニーマスタードソース)

- ①材料を合わせて混ぜる。

材料

鶏そぼろ(2人分)

- 鶏挽肉(胸、もも肉は好みで) 200g
- 酒 60cc ●鰻のたれ 60cc
- 油 少々

ハニーマスタードソース(4~6人分)

- はちみつ 小さじ1
- 粒マスタード 大さじ1
- マヨネーズ 小さじ1
- 醤油 小さじ1/2



左が鶏そぼろ、右がハニーマスタードの材料。鶏そぼろは、焼き肉のたれでも代用できる。挽肉はフライパンに平く広げ、焼き色がつくまで動かさないのがポイント。片面に焼き色がついたらひっくり返して両面を焼いてからほぐし炒める。

納豆のたれの小袋1つを入れて焼けばおいしいだし巻き卵ができます。粉ソースや焼き肉のたれは、肉野菜炒めに使えます。肉がなければ魚肉ソーセージで炒めるのもおすすめです。最後に卵を加えるとよりおいしさが増しますよ。

今回紹介する鰻のたれの活用レシピは、たれと同量のお酒を加えて炒めるだけと超簡単！鰻のたれは醤油、味噌、ザラメの合わせ調味料なので手間いらずで甘辛醤油味に仕上がるといっていいですね。そぼろ丼やそぼろ弁当、おにぎりの具などとにかくご飯がすすむ一品です。

またハニーマスタードソースは、シンプルに塩焼きにしただけの魚や肉、茹で肉と相性抜群。かけるだけで料理の見栄えも味もワンランクアップします。



ノマド的スタイルのルーツ

さまざまなルーツや独自の演奏スタイルを持つミュージシャンとのコラボや、自身の身の回りのできごとや情景から生まれる音楽の演奏を続けるファルコンさんは広島県福山市で生まれた。

「両親の故郷が福山市で、それらの実家もあったので福山市で生まれましたが、自衛官だった父親がいわゆる『転勤族』で小学校4年生までの間に6回、引っ越しを経験しました。暮らした場所は小倉、横須賀、市川、宝塚、帯広、熊本です。小4で北海道の帯広から熊本へ引っ越しをした時は、そこで暮らす人たちの人柄も違っていて、カルチャーショックを受けました」とファルコンさんは振り返る。1年から2年半程度で引っ越しを繰り返し、友達との出会いと別れ

も重ねた。そうした寂しさを抱えながらも、北海道では自然のスケール感の違いに魅了されたりもした。

「その子どもの時の経験が、今の音楽性に影響しているように思います。ソロもやりますが、バンド活動ではいろいろな人と演奏をしています。演奏場所も全国各地です。ノマド的なのですが、そんなスタイルが自分の核になっています」

エフェクターを使い、音を作る

音楽は、1歳上の姉が通っていたピアノ教室について行ったことがきっかけで、幼稚園の年長から小4まで習い続けた。その時に絶対音感が身についたという。

ギターを始めたのは、高校に入学する前の春からだ。「ロックバンドの」X JAPANのYOSHIさん^{*}にあって、親に頼んでエレキギターを買ってもらったのが始まりです。ただ、生粋の左利きなのに、買いに行った楽器店には右利き用しかなく、それ以来、ギターだけは右利き用で弾いています」



ファルコンさんが使うエフェクター。エフェクターとは音を加工して音響効果を生み出す機器で、さまざまな種類のものがある。

高校卒業後は音楽専門学校に進学。学校を卒業した後はバイトをしながら音楽活動をし、シンガーソングライターのサポートとしてプロ活動をスタートした。

現在のエフェクターを駆使し、音に空間的な広がりを生み出す演奏スタイルは、友人のバンドがシューゲイザー^{*}やポストロック^{*}といったエフェクターを駆使する演奏をしているのを見て「自分よりもいけている」と感じたことから取り入れ始めた。

「エフェクターそのものを楽器の一部として扱うことで、ギターの役割がより自由になれると感じています。ギターの『弦を弾いて音を出す』という枠にとらわれず、『音も含めた空間全体を作る』とい

コロナ禍、ウクライナ侵攻、そんな日常で生まれた曲

アコースティックギターの演奏にエフェクターを使い、自然や風景を描写した壮大かつ繊細な音楽や、ダンスや朗読、写真など、他ジャンルのアーティストとのコラボで即興演奏を行うギタリストのファルコンさん。作曲も手がけ、ソロライブでの演奏のほか、台湾やチベットなどの民族音楽、沖縄の古典や民謡といったルーツの異なる音楽のシンガーや演奏家とコラボしたバンド活動を展開している。

また、ファルコンさんが台湾出身のシンガー^{*}Eriさん、飛鳥ストリングス(マレー飛鳥さん^{*}、吉田篤貴さん^{*}、西谷牧人さん^{*})に呼びかけて結成した室内楽編成のユニット「ハルカストリングス」では、弦楽器と人の声が織りなすフォークロアな世界観を表現する。

「2023年に発表したハルカストリングスのファーストアルバム『風の中の夢』には、作曲のほか、自分で作詞を手がけた曲も入っています。亡くなった人と残された人をテーマにした曲『美しき様々の夢』は、友人の奥さんの訃報を知り、『遠く離れてもいつでも思い



ライブ前のリハーサル中のファルコンさん。そのアーティスト名は映画「ネバーエンディング・ストーリー」に登場するファルコンに似ていると、学生時代についたあだ名に由来する。

出せる』という言葉とメロディが自分の中に降りてきて生まれた曲です」とファルコンさんは話す。

「また、2020年3月頃からコロナ禍でアーティストのライブやコンサートが一斉に中止になっていく中、住んでいる湘南の町や海辺を散歩していると、いつもの春先と同じように花は咲き、鳥は飛び、自然は変わらずにあることに気づきました。その情景から『夢は止み過ぎゆく春のかげら』という曲が生まれました。コロナ禍が落ち着き始めた頃、ロシアによるウクライナ侵攻が始まり、その時湘南の海を見ながら生まれたのが『風が吹く』です。主人公が創造と祈りと共に、風を受けながらも自分の道を歩いていくイメージで書きました」

う意識に徐々に変わっていきました。フレーズやコードだけでなく、余韻やノイズの響きにも意識を向け、より開かれた感覚で音と向き合うように心掛けています」

音楽は世代も国境も越える

2025年にはEriさん、日系ブラジル人のマルセロ木村さんと共に「Aza Roots」というユニットでCDをリリースするほか、チベット人シンガーであるドウクシャムツエランさんとも作品づくりを行っていく。

ファルコンさんは「音楽は世代も国境も越えられるものです。例えば悲しい時に弾く音楽が、聴く人を同じように悲しませるのではなく、その感覚を共有して解放させることができるのも音楽の役割です。自分の内面と向き合いながらも、共演者との世界観を深めていくことが理想です」と、音楽が持つ力とこれから自身がめざすことを語ってくれた。

●ファルコンさん公式Webサイト

ライブ
スケジュールは
こちらから！



^{*}1 直訳すれば「靴を見つめる人」の意で、足元に置いたエフェクターなどを多用し、複雑で幻想的なギターサウンドを生むロック音楽の一種。
^{*}2 ロック音楽の一種で、ロックで使う楽器を従来の使い方ではなく、音色や響きを作るために使って生み出された音楽のことを指す。

ファルコン(Falcon) ●ギタリスト、作曲家。広島県福山市生まれ。アコースティックギターを軸に、エフェクトを活かした空間的音作りによる独自の奏法が話題を呼び、ウェイウェイウー(二胡)、中西俊博(vn)、カルメン・マキ(vo)、鬼怒無月(g)、マレー飛鳥(vn)らと共演。自然や風景を描写した作曲、さまざまな地域の民謡とのコラボレーション、即興演奏を軸にしたダンス、朗読、写真とのコラボレーションなど多様な音楽に取り組む。2019年2ndソロアルバム「美しき様々の夢」発売。2023年Eri Liaoと飛鳥ストリングスをフォーカスして作詞・作曲、アレンジも手掛けて「うた」に取り組んだプロジェクト「ハルカストリングス」のデビューアルバム「風の中の夢」を発表した。2024年空撮写真家の山本直洋の写真・動画と音楽によるコラボライブLOGISTEED presents OTTAVA Accademia Special「Above the Seven Summits Live!」に出演。

ロジスティード 陸上部入部の 経緯は？

中学時代から本格的に陸上を始め、山梨学院大学の陸上部時代には箱根駅伝にも出場し、ずっと陸上に打ち込んできました。大学卒業後も実業団で陸上を続けたいと考え、その時までマラソンで活躍している選手がおらず、ロジスティード陸上部が強化を図っていると知り、入部を決めました。



選手時代の 思い出と マネージャーに 転身した理由は？

ロジスティード陸上部ではニューイヤーマラソン出場が一番の思い出です。ただ、ケガに苦しむことも多く、選手としての実力不足を感じて2023年1月末に引退しました。その後は、ロジスティード(株)東日本営業開発部 営業グループに配属となり、営業の仕事に就き、栃木県小山市に立ち上げるようになった新しい倉庫の担当になりました。大勢のパートさんたちに指示を出したり、一緒に働いたこと、ロジスティードの本業を知ったことはいい経験になりました。そんな中、2024年1月に行われたニューイヤーマラソンの手伝いに行ったのですが、そのときにチームは下位で終わる結果となりました。自分自身も不完全燃焼で陸上生活を終えたという思いがあり、一度は区切りをつけた陸上への思いが再燃し、チームを強くするための力になりたいとマネージャー職を志望して、2024年5月からマネージャーに就任しました。



マネージャーの役割を 教えてください

幅広くあるのですが、一言でいうと選手のサポートです。練習する競技場の手配、練習前後の準備と後片付けなどがあり、練習中はストップウォッチを多い時には4、5個同時に動かしてタイムを計測し、後で記録をつけます。気温や選手それぞれのコンディションやタイミングを見計らって、給水用の飲み物を準備し、選手に並走して給水します。給水も水しか飲

ロジスティード陸上部には監督、コーチのほか、マネージャー、管理栄養士が在籍し選手たちがベストなパフォーマンスを発揮できるよう日々の練習や大会での活躍をサポートしているももとは陸上部の選手でマネージャーに転身した上田 健太さん勤続10年になる管理栄養士の四條 淳子さんにその役割や、やりがいなどを聞いてみた

番外編
陸上部を支える
スタッフたち

選手たちの
ONとOFF
vol. 7
Kenta Ueda
&
Atsuko Shijo

マネージャーとしての喜びは？

自分が選手だった時、別の選手が良い記録を出せば「悔しい」という思いが先に立ちましたが、今はチームの選手がベストタイムを更新すれば、自分が更新した時と同じくらいの喜びを感じます。選手が10人いたとして、それぞれが良い記録を出せば10回喜びを感じられるので、「うれしい」ということが現役時代よりも増えました。

選手時代の経験が 活かせることはありますか？

「今はこうしてほしいだろうな」と、選手側の気持ちで考えることはできます。軽い練習と辛い練習の後での食事の食べ方や残食についてスタッフとして指導したり、選手たちの個性に合わせて走りやすい現場をつくることを心掛けて

います。また、千葉県松戸市にある陸上部の寮に戻って生活していますので、選手たちとの距離も近いです。ちょっとした悩みや体調の変化などにも気付いたり、言ってもらえるような関係をつくれるようにしています。

オフの時間の 過ごし方を 教えてください

陸上の世界に戻ったので、だらしない体にはなりたくないな(笑)と、2日に1回は筋トレに行っています。毎回90分ほどトレーニングします。映画を観るのも好きなので、映画館に行くことも多いです。

これからの 目標は？

まずはサポート役としてチームに貢献することですが、いずれはコーチや監督として勝てるチームをつくっていききたいという思いはあります。陸上の世界は日々進化していますので、アンテナを張り、大会などでもほかのチームのマネージャーやコーチ、監督の動きや役割などを観察するようにしています。

上田 健太



うへだ けんた ●ロジスティード陸上部マネージャー。山梨県甲府市出身。山梨学院大学陸上部時代には箱根駅伝に3度出場。同大学を卒業後、2018年にロジスティード陸上部に入部。陸上部に入部。2023年1月に選手としての現役を引退。2024年5月、陸上部マネージャーに就任した。

ロジスティード

陸上部

管理栄養士と 公認スポーツ栄養士とは？

管理栄養士は国家試験の合格が必要で、国家資格です。栄養士よりもさらに高度な専門知識が必要になります。管理栄養士になると、対象者の特性や体の状況に合わせた栄養指導を行えるようになります。また、管理栄養士であることが前

陸上部専属の管理栄養士とは どんな仕事ですか？

選手に対して栄養指導を行うことが仕事で、今は一人ひとり、個人面談を中心に指導を行っています。選手それぞれのその時の体調や目標、そして筋肉や脂肪、骨、水分などの体組成のデータ、血液検査の結果と合わせて、どのような食事を作るべきか指導します。ただ、単純にデータの数値だけではなく、その時のメンタル面なども気をつけるようにしていて、今はどんな指導をしても無駄だなという時には無理強いしませんし、選手の性格や個性に合わせて言い方を変えたりもしています。集中的に指導する必要がある時は、頻繁に声掛けをして指導しますし、今は大丈夫だなという時には数カ月一度になることもあります。また、平日の陸上部の食堂で出されるメニューや合宿時のメニューを考えることも私の役割です。昨年からは月に1回、栄養セミナーの開催を始めました。陸上部全体で学んでもらい、正しい知識を身につけることで、コンディショニング維持につながる内容をテーマにしています。たとえば「ドーピング」「睡眠」「免疫」「糖質の摂取」「タンパク質の摂取」などについての講義を行いました。

今の仕事で大変なことは？

今も勉強の日々が続いていることです。栄養学の世界は日々、情報がアップデートされています。最新の知識を得るために、論文検索をしてその論文を読んだり、本を読んだり、ネットでトレンドを掴

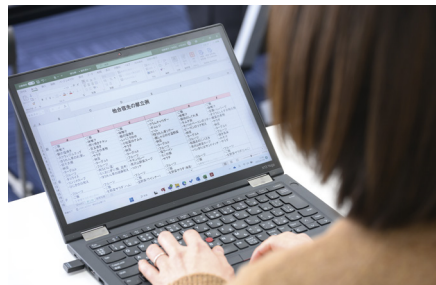
管理栄養士を めざそうと思ったきっかけは？

私は中学、高校と陸上部に入っていて、短距離、中でもハードル走を専門種目にしていました。陸上競技に向き合う日々の中、体型維持のことで悩んだり、何をどう食べればいいのか分からなかったりすることがありました。また一方で料理することも好きだったの

選手がベストパフォーマンスを 出せるようサポートします

ロジスティード陸上部に 入ったのはいつですか？

2015年から専属の管理栄養士として働いています。その前はプロ野球球団の管理栄養士をしていました。実は前職時、野球のことは何も知らずに就職しました。今は自分も経験がある陸上部での仕事で、選手たちにベストパフォーマンスを発揮してもらえるよう仕事に取り組んでいます。



仕事でうれしいこと、 やりがいを感じることは？

やはり、選手がよい結果を出せた時です。もちろんそれは選手の努力によるものですが、その結果に少しでも携われたのかなと思うとうれしくなります。また、私ができる工夫として、選手の誕生日にはその選手の好きなメニューを聞き、それを食堂のメニューで提供する日を設定しています。ストイックに向き合うだけではなく、楽しむことも大切だからです。希望されるメニューは本当にいろいろで、海鮮丼やステーキ、オムライス、焼きそばなどがありました。秋が誕生月の選手から栗ご飯のレシピが出て、秋を感じるメニューを組み立てたこともありました。

オフの日は どのような 過ごし ていますか？

子どもが一人いるのですが、まだ小さいので、休日は子育てと家事に追われています。体を動かすことが好きなので、子どもが生まれる前は時間があればジョギングをしたり、冬だったらスノーボードに行ったりしていました。

像以上に勉強が大変でした。管理栄養士になるためには、栄養学だけではなく、化学や生化学、臨床学など幅広い知識が必要で、理系の世界でした。



しじょう あつこ●ロジスティード陸上部管理栄養士。公認スポーツ栄養士。千葉県千葉市出身。女子栄養大学卒業後、大手フィットネス企業に就職。その後、プロ野球球団所属の管理栄養士を経て、2015年、ロジスティード陸上部専属の管理栄養士に。以来、選手たちの栄養指導などを担当している。

関西第三メディカル物流センター開設

ロジスティード西日本(株)は兵庫県三田市に「関西第三メディカル物流センター」を開設し、12月2日より稼働しました。ロジスティードグループは、GDP*1に準拠した拠点整備やCEIV Pharma*2認証の取得を進め、高度化する医薬品物流の需要拡大などの環境変化に対し積極的に取り組んでいます。適切な温度管理、厳重なセキュリティ管理を行うとともに、免震構造の採用、自家発電設備の導入など、メディカル事業者のBCP*3にも対応したセンターとなります。また、安全やお客様のコンプライアンス意識の高まりも考慮し、敷地内に危険物倉庫も併設しています。



関西物流センター(京都亀岡)開設

ロジスティードケミカル(株)は、京都府亀岡市に「関西物流センター(京都亀岡)」を開設し、1月6日より稼働しました。このセンターは、7棟の危険物倉庫群からなる危険物の取り扱いに特化した物流センターで、幹線道路からアクセスが良好な大規模工業地域に立地しています。化学品に限らず、化粧品、医薬品、リチウム電池など、さまざまな産業分野における危険物の保管に関する法令遵守をサポートしています。また、ロジスティードグループで初めて屋外における無軌道タイプの自動運転技術を搭載した無人搬送車を導入し、フォークリフトによる屋外搬送を省人化するなど、高効率な物流サービスを提供しています。



シンガポール・チャンギ国際空港にて「CEIV Pharma」取得

LOGISTEED Asia-Pacific Pte. Ltd.が、2024年12月24日付でシンガポール・チャンギ国際空港においてIATA(International Air Transport Association:国際航空運送協会)が推進する医薬品国際輸送に関する品質プログラム「CEIV Pharma*2」認証を取得しました。今回、グループとして6カ所目となる認証となります。



*1 Good Distribution Practiceの略。輸送・保管中にも劣化しないように厳密な品質管理の確保を目的とした「医薬品の適正流通基準」
*2 "The Center of Excellence for Independent Validator in Pharmaceutical Logistics"の略。IATAが世界各国、各地域で異なるGDPを包括的に網羅する医薬品温度管理航空輸送の品質認証として策定したグローバルでの統一基準
*3 Business Continuity Planningの略。自然災害やテロ、サイバー攻撃などの緊急事態が発生した際に、被害の最小化と早期復旧、企業活動の安定を図ることを目的とした「事業継続計画」
*4 "Good Hygiene Practice"の略。食品の安全性を確保するための基本的な衛生管理の実践のこと

編集後記

アルプス物流の紹介記事作成のため、横浜市にある本社を訪問しました。本社は駅からほど近い場所にあり、特に本社に隣接している横浜営業所は川沿いに建てられているため、川の向こう岸から全景を見ることが出来ます。立地環境のせいか開放的で風通しの良い社内の雰囲気を感じました。新しい仲間とともに新しい歴史を刻んでいきたいと思います。(金田)

タイに物流センター開設

LOGISTEED(Thailand), Ltd.は、バンコク近郊のサムットプラカーンに物流センターを新たに開設しました。タイ国内においてGDP*1、CEIV Pharma*2、GHP*4などの認証取得を進め、輸送品質の向上に取り組んでおり、このセンターは常温、空調、冷蔵、冷凍の複数温度帯の製品を1拠点で取り扱うことができます。流通加工のスペースも備えており、コールドチェーンをはじめヘルスケアや高機能材など幅広い産業分野のサプライチェーン効率化に対応します。バンコク中心部から35km、スワンナプーム国際空港からも25kmのアクセス良好な場所にあり、輸配送拠点として利便性も高い、複合機能型の物流センターです。太陽光発電設備を導入し、LED照明の活用で電力使用を低減するなど、環境にも配慮しています。



25mダブル連結トラック輸送開始

ロジスティード九州(株)は、イオン九州(株)、イオングローバルSCM(株)、NEXT Logistics Japan(株)と、イオン九州RDCにて2月17日より25mダブル連結トラックでの輸送を開始しました。イオングループのサプライチェーンを担うイオングローバルSCM(株)が、イオン九州(株)からの商品輸送をロジスティード九州(株)の25mダブル連結トラックで行う新たなスキームを、NEXT Logistics Japan(株)の支援のもと構築しました。イオングループとして初めて25mダブル連結トラックを採用し、イオン九州RDC(佐賀県)とイオン南九州FDC(熊本県)の間で、一部を大型トラックから25mダブル連結トラックに切り替えることで、ドライバーの省人効果50%、CO2排出量約40%の削減が見込まれます。



SSCV®-Safety「遠隔点呼」機能追加

ロジスティード(株)が開発・提供する安全運行管理ソリューション「SSCV®-Safety」に、遠隔地にある拠点間でドライバーの点呼を可能とする「遠隔点呼」機能を追加しました。



サプライチェーンマネジメント競技会で世界一獲得

ロジスティード(株)は、オランダInchainge社がサプライチェーンマネジメント(SCM)トレーニングイベントとして毎年開催する世界SCM競技会(Global Professional Challenge 2024)に出場し世界第1位を獲得しました。メンバーは、日本予選ラウンドを勝ち進み、世界各地の予選を突破した48社が参加する世界大会へと進出しました。世界大会は4日間にわたって行われ、日々の成績に応じた戦略の練り直しや、競技会内で突発的に発生するイベントへの対応など、短時間でフレキシブルな判断を求められますが、これまでに実際のビジネスで培ってきた経験や知識を駆使してこうし



SSCV®-Safetyを活用した取り組みで国土交通大臣表彰を受賞

ロジスティード(株)は12月17日、令和6年度運輸安全マネジメント優良事業者等表彰において、安全運行管理ソリューション「SSCV®-Safety」を自社に導入し、ドライバーの安全性向上に貢献したことが高く評価され、「国土交通大臣表彰」を受賞しました。



リチウムイオンバッテリー専用コンテナ「LIB-CON™」の開発・導入

ロジスティード(株)は、リチウムイオンバッテリーの保管効率を向上させるため、専用のオールスチール製耐火性コンテナ「LIB-CON™」(リブコン)を開発しました(特許出願中)。リチウムイオンバッテリー(以下、LIB)は、倉庫保管する際、電解液の合計量によって貯蔵場所の構造、保管方法などに多くの制約が設けられており、保管倉庫の供給不足が懸念されています。一般倉庫に本コンテナを格納する場合、危険物(コンテナ)間の空地の規制などが緩和され、より多くのコンテナを保管できます。2025年1月より、ロジスティードグループの物流センターで導入を進め、LIBの保管や取り扱い拡大のニーズに対応していきます。



没入型安全教育システム開発・新規契約獲得

VANTEC EUROPE LIMITEDが自社開発した没入型安全教育システム「バンテック・インタラクティブ・エクスペリエンス ルーム(Vantec Interactive Experience room)(以下、VIEルーム、日本名: Living Lab))」をイギリス北東部ダラム州にあるイースト・ダラム・カレッジが導入します。VIEルームはゲーミフィケーションと最新の3D、没入型シミュレーション技術を駆使して、現実の環境やシナリオを再現したトレーニングソリューションを提供しています。



「Safety Driving Award 2024」ゴールド賞受賞

ロジスティード(株)は11月28日、「Safety Driving Award 2024」(日経ビジネス主催)の運送事業部門にて、ロジスティードグループが開発・サービス提供する安全運行管理ソリューション「SSCV®-Safety」が交通事故削減に寄与したとして高く評価され、最高賞であるゴールド賞を受賞しました。



5社共同で物流構造改革表彰を受賞

ロジスティード(株)は、経済産業省、国土交通省、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会、一般社団法人日本物流団体連合会が主催する令和6年度物流パートナーシップ優良事業者表彰において、(株)成城石井、東京ヨーロッパ貿易(株)、(株)nakato、ロジスティード西日本(株)と取り組んだ「関西物流センター新設に伴うサプライチェーンの効率化及び環境負荷低減の実現」が評価され、「物流構造改革表彰」を5社共同で受賞しました。



2025 さっぽろ雪まつり出展

ロジスティード(株)は、2月4日から11日の間、北海道札幌市で開催された「2025さっぽろ雪まつり」大通会場に雪像を出展しました。75回目を迎える今年は約200基の冰雪像がそろい、大通10丁目UHBファミリーランドに展示されたロジスティード(株)の雪像は、「ロジスティードで活躍する物流トラック」をタイトルに、実際に街で活躍しているロジスティードグループのトラックをリアルに再現しました。企業紹介看板ではロジスティードグループが保有する特殊車両を紹介するなど、幅広い世代の方々に物流トラックについてアピールしました。



つながる心 つながる力 みんなでつくる復興コンサート2025協賛

ロジスティード(株)は、3月1日に開催された「つながる心 つながる力 みんなでつくる復興コンサート2025」に特別協賛しました。今回で13回目になるコンサートは、震災の記憶を風化させることなく語り継ぎ、新しい時代を切り拓いていくことをめざして毎年開催されています。仙台フィルハーモニー管弦楽団と共に音楽を奏でるゲストに、女性ボーカルグループの「Little Glee Monster」を迎えました。ロジスティードは2022年より協賛を行い、音楽の力による被災地の復興を支援しています。



